

未来

人権教育啓発シリーズNO.1



この『未来』は、学校で進める人権教育を御理解いただくとともに、子どもも大人も、共に人権意識を育てていく一助としての啓発紙です。本年度も様々なテーマで作成していきますので、お読みいただければ幸いです。

今回は「学びの環境」をテーマに取り上げたいと思います。

人権が尊重された学習環境をめざして

「子どもの学ぶ権利を保障した授業づくり」これは第2次日光市学校教育基本計画における人権教育の推進の1つとしてあげています。

県教委では、栃木県人権教育基本方針に基づき、「人権が尊重された雰囲気や環境に関すること～一人一人を大切にされた雰囲気や環境づくり(言語環境、学習環境等)～」を学校教育、社会教育における人権教育の推進において、1つの内容としてあげています。

人権が尊重された学習環境は子どもの学ぶ権利を保障することにつながることと思われます。では、子どもたちの学習環境に視点を向けてみましょう。児童生徒のみなさんは級友のようすを、保護者の皆様は授業参観や、家庭での会話から子どもたちのようすを見てみましょう。先生は授業を行っている際の子どもたちのようすから自身の授業を振り返りながら見てみましょう。

具体的な場面	気をつけて見ていきたい点
児童生徒の呼び方	一人ひとりに対する呼び方が「さん、ちゃん、(呼びすて、あだな)」などでちがっていませんか(児童生徒が呼ばれたとき、不公平感を表しているようなようすが見られませんか)
座席替えやグループ決め	それぞれの事情を考えて決めていますか (視力・聴力等の身体的な事情、人間関係等が十分に配慮された決め方が行われていますか)
教室での指名	問題の内容、児童生徒のようすから意図的な指名がされていますか (日付順、席順、名簿順といったようなあまり意図的・計画的とはいえない指名がありませんか。)
机間での指導	声のかけ方、机間での指導がかたよっていませんか (児童生徒のようすから時には助言、意図的・計画的な机間指導がなされていますか)
授業でのようす	授業はめあてや学習過程を示し、見通しをもたせた授業ですか
	授業は発言をしない、発言できないような児童生徒に対して適切な配慮と支援がされていますか
	授業には児童生徒一人ひとりが自由に発言できる雰囲気がありますか
	授業中で、大多数の児童生徒が「いいです」と同意している中で本当はちがう考えをもっていたり、答えが出せなくて困っている児童生徒を見かけませんか
	授業中は「認める」「ほめる」「励ます」ような言葉をかけあいながら進んでいますか
	授業は個に応じた課題や解決の方法が示されていますか
	授業はどの児童生徒の意見もまず受け入れられていますか (聞き流されたり、大人数に「えー」と否定されたりしていませんか)
	授業は他の人の発言や作品のよさに気付いて、お互いに学び合う態度で進んでいますか
	授業はお互いの意見を最後まで聞きあう態度で進んでいますか
授業でペア学習やグループ活動を行うときに全員が活動に参加していますか (必要に応じて適切な支援がされていますか)	

参考：人権教育推進のためのQ & A(H29.3 栃木県教育委員会委員会)

子どもたちはぜひ、それぞれの学ぶ権利を大切にして学校生活を送ってもらいたいものです。保護者も先生も子どもたちを見守る一人の大人として、協力して子どもたちのようすをうかがいながら子どもたちの学ぶ権利を守っていききたいものです。